









野菜の需給・価格動向レポート(平成24年3月5日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		2月の価格動向				生育及び価格の3月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額				
			上旬	中旬	下旬		
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div> 	88.05	121	117	138	・入荷見込量：17,131t (100) ・主産地：愛知 (71)、千葉 (13)、神奈川 (13)	・愛知産は、低温の影響により肥大が進まず小玉傾向で、気温の上昇とともに出荷量の増加が見込まれるものの、上旬までは少なめの出荷の見込み。千葉産は、低温の影響で小玉傾向のところに、冬系から春系への切り替わり時期となり、中旬までは少なめの出荷の見込み。神奈川産は、平年並みの出荷の見込み。 ・愛知産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		83.73	133	128	145		
	<div>ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)</div> 	229.99	238	273	308	・入荷見込数量：4,297t (100) ・主産地：千葉 (45)、埼玉 (25)、茨城 (12)、輸入 (7)	・千葉産及び埼玉産は、低温の影響で枯れ葉が散見され、肥大も進まないことから、少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		450.51	439	545	540	・入荷見込数量：260t (104) ・主産地：徳島 (33)、大阪 (14)、奈良 (12)、三重 (11)、高知 (11)、香川 (10)	
	<div>はくさい</div> 	61.12	56	69	85	・入荷見込量：8,445t (95) ・主産地：茨城 (55)、兵庫 (28)、群馬 (11)	・茨城産は、秋冬ものが出荷の終盤となり、中旬までの出荷の見込み。一方、春ものは、2週間程度の遅れで下旬から出荷が始まる見込みであるが、全体的には、小玉傾向で少なめの出荷の見込み。兵庫産は、ピークを過ぎて減少傾向で、中旬から冷蔵ものの出荷となるが、平年よりは少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		68.7	78	90	91	・入荷見込量：3,100t (95) ・主産地：長崎 (44)、愛知 (16)、兵庫 (11)、熊本 (9)、福岡 (6)、大分 (6)、宮崎 (6)	
	<div>ほうれんそう</div> 	307.66	617	509	433	・入荷見込量：1,386t (100) ・主産地：千葉 (26)、群馬 (24)、埼玉 (23)、茨城 (17)	・千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、上旬までは少なめの出荷の見込み。群馬産は、適度の降雨と低温の解消により生育が進み、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに近づく見込み。
		341.25	622	622	520	・入荷見込量：590t (85) ・主産地：徳島 (62)、福岡 (22)	
	<div>レタス</div> 	233.85	343	357	411	・入荷見込量：7,690t (100) ・主産地：茨城 (35)、静岡 (21)、香川 (12)、兵庫 (8)、栃木 (5)	・茨城産は、冬作が徐々に増えてはいるが、少なめの出荷となっている。一方、春作は生育が2週間程度遅れ、中旬から出荷の開始が見込まれるものの、しばらくは少なめの出荷が続く見込み。静岡産は、低温と降雨の影響で少なめの出荷となり、今後も平年を下回る出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		226.75	340	385	411	・入荷見込量：1,350t (96) ・主産地：兵庫 (43)、徳島 (21)、香川 (15)、茨城 (7)	
	<div>たまねぎ</div> 	76.15	91	96	101	・入荷見込量：11,147t (103) ・主産地：北海道 (63)、静岡 (12)、輸入 (12)	・出荷の大宗を占める北海道産は、前年よりは多いが、平年には届かない出荷の見込み。静岡産は、1月までの低温と少雨により少なめの出荷となっているが、今後は生育が進み、出荷量の回復が見込まれる。 ・北海道産の出荷が平年より少なめの出荷と見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.15	93	95	98	・入荷見込量：3,800t (101) ・主産地：北海道 (50)、兵庫 (18) 長崎 (11)、静岡 (9)	
果 菜	<div>きゅうり</div> 	370.98	421	384	452	・入荷見込量：5,918t (95) ・主産地：埼玉 (20)、群馬 (20)、千葉 (19)、宮崎 (14)、茨城 (13)	・埼玉産は、低温と曇天の影響で生育が進まず、1週間程度の遅れが見られ、中旬までは少なめの出荷の見込み。群馬産も、最近の曇天の影響で生育が停滞し、平年より少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		350.33	412	364	456	・入荷見込量：1,250t (87) ・主産地：宮崎 (46)、高知 (24)、徳島 (17)、愛媛 (6)	
	<div>トマト</div> 	332.6	451	479	642	・入荷見込量：6,043t (98) ・主産地：熊本 (26)、栃木 (23)、愛知 (11)、茨城 (7)、千葉 (6)、群馬 (6)、埼玉 (5)、福岡 (5)	・熊本産は、曇雨天の影響で平年より1～2割減の少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。栃木産は、低温と曇天の影響から小玉傾向で、平年を下回る出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		311.06	418	440	591	・入荷見込量：1,050t (94) ・主産地：熊本 (56)、福岡 (13)、愛知 (12)	
	<div>なす</div> 	389.03	419	414	415	・入荷見込量：2,845t (97) ・主産地：高知 (58)、福岡 (21)、佐賀 (6)	・高知産は、曇雨天の影響で少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、曇天と低温の影響により、平年より少なめの出荷となっており、中旬までは少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		397.74	415	403	405	・入荷見込量：560t (100) ・主産地：高知 (33)、熊本 (21)、福岡 (20)、岡山 (11)、大阪 (9)	
	<div>ピーマン</div> 	551.24	806	701	819	・入荷見込量：1,727t (100) ・主産地：茨城 (42)、宮崎 (27)、高知 (18)、鹿児島 (13)	・茨城産は、低温と日照不足の影響により生育が進まず、少なめの出荷の見込み。宮崎産も、曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		513.91	756	662	794	・入荷見込量：330t (106) ・主産地：宮崎 (57)、高知 (27)、鹿児島 (9)、和歌山 (6)	
根 菜	<div>だいこん</div> 	79.03	102	120	117	・入荷見込量：12,495t (97) ・主産地：神奈川 (62)、千葉 (37)	・神奈川産は、春ものの出荷が開始となるが、1月までの低温と少雨の影響により小ぶりで、平年より少なめ出荷となっている。今後は平年並みの出荷となる見込み。千葉産は、低温で生育が停滞し、小ぶりで少なめの出荷となっている。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		80.47	89	103	102	・入荷見込量：3,100t (105) ・主産地：鹿児島 (28)、徳島 (26)、長崎 (24)、香川 (6)	
	<div>にんじん</div> 	100.82	107	116	125	・入荷見込量：7,115t (105) ・主産地：千葉 (47)、徳島 (24)、埼玉 (6)、輸入 (4)	・千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっていたが、今後は平年並みの出荷となり、3月いっぱい出荷が続く見込み。徳島産は、低温の影響で生育が遅れているが、下旬から本格的な出荷が開始する見込み。 ・千葉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		104.49	110	129	133	・入荷見込量：2,100t (94) ・主産地：鹿児島 (58)、徳島 (19)、長崎 (10)、愛知 (8)	

種類		2月の価格動向				生育及び価格の3月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
い も	さといも 	217.95	211	212	216	・ 埼玉産及び千葉産は、順調な出荷の見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		219.65	255	253	274	
	ばれいしょ 	88.17	112	115	116	・ 出荷の大宗を占める北海道産は、少なかった前年よりは多いが、平年よりはやや少なめの出荷の見込み。鹿児島産は、順調な生育ではあるが、降雨により掘り取り作業が進まず、少なめの出荷となっている。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		88.17	97	104	109	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額を下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,189gで前年比97%、購入金額は、1,634円で同104%となり、購入量では前年をやや下回り、購入金額はやや前年を上回った。

また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は、245円で過去5か年平均比138%、レタスは、682円で同134%となり、キャベツ、レタスとも過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入量及び金額
(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成23年		平成24年			
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629		0		0
3月	4,815	1,721	4,867	1,788		0		0
4月	4,779	1,812	4,796	1,789		0		0
5月	5,109	1,894	5,171	1,820		0		0
6月	5,043	1,872	4,904	1,857		0		0
7月	4,441	1,696	4,362	1,759		0		0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717		0		0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803		0		0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移
(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成24年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比 (%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	245	138	508	682	134
3月	188		0	461		0
4月	238		0	462		0
5月	172		0	380		0
6月	144		0	350		0
7月	160		0	324		0
8月	156		0	463		0
9月	155		0	562		0
10月	161		0	505		0
11月	162		0	371		0
12月	153		0	453		0

1) 過去5か年は平成19年～23年の平均。
2) 平成24年2月の値は、2月中旬の速報値。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成24年1月の輸入量を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比71%(中国は同117%、米国は同25%)の2万9千トン、にんじんは同171%(中国は同186%、オーストラリアは同42%)の6千トン、ねぎは同117%(中国は同117%)の4千トンとなり、たまねぎは前年を大幅に下回り、にんじん、ねぎは、前年を大幅に上回った。

野菜の輸入数量の推移

(単位:トン、%)

区分	平成22年		平成23年1~12月		平成23年12月	
		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	79,886	80
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	168,796	113
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	248,683	100
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	135,655	101
中国産シェア	51		52		55	

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

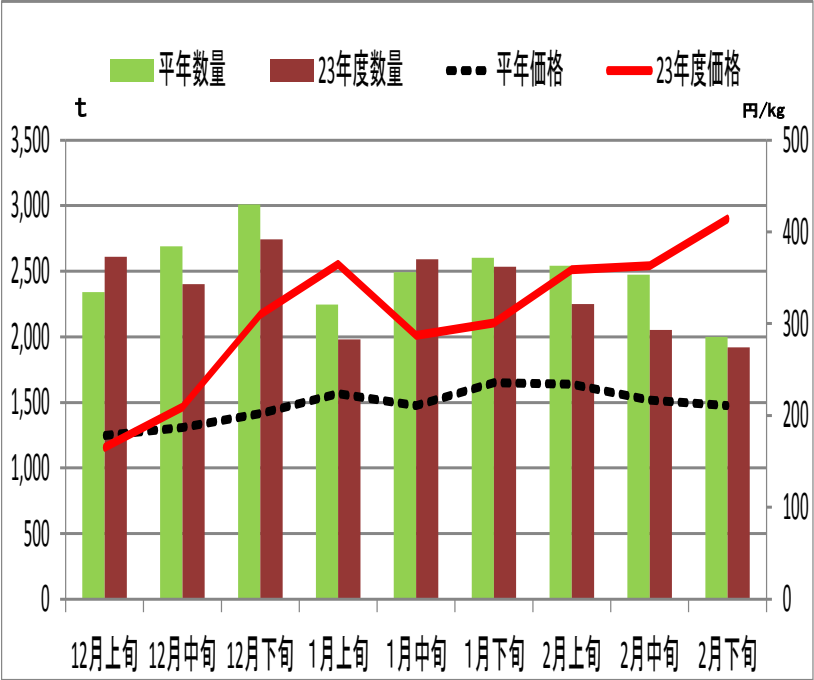
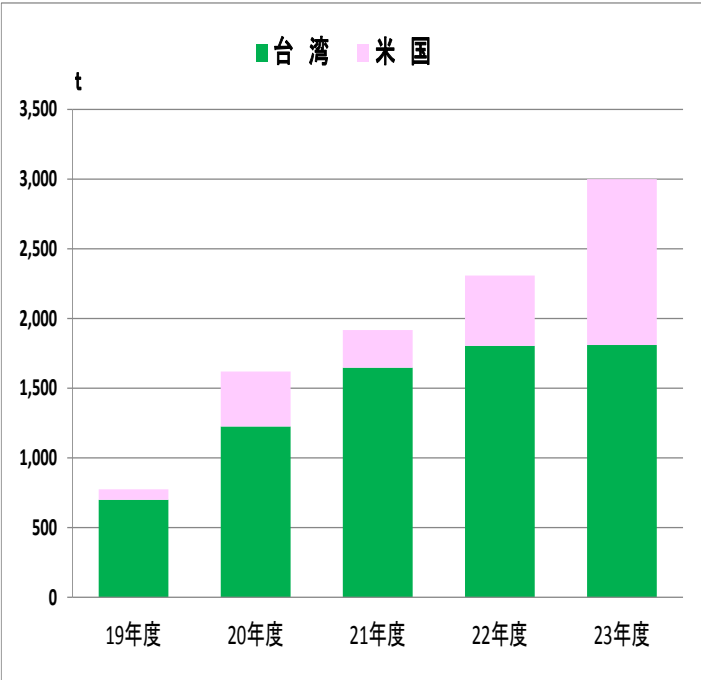
主な野菜の輸入動向

(単位:トン、%)

品目	輸入先	平成23年1月(A)	平成24年1月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	41,272	29,100	71
	中国	20,480	23,903	117
	米国	20,555	5,039	25
にんじん	合計	3,389	5,787	171
	中国	2,958	5,498	186
	オーストラリア	250	104	42
ねぎ	合計	3,746	4,391	117
	中国	3,744	4,388	117

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年1月は、速報値である。

4 トピック ― レタスの冬場の輸入が増加 ―

レタスの12月~2月の入荷量を平年と比較すると、ほとんどの旬で平年を下回っている。 レタスは、厳冬期には生産が不安定になりがちであるが、今年度は気温が平年に比べて特に低めに推移していることが、入荷量の減少に大きく影響している。 一方、12月~2月第3週までの輸入量を見ると、近年増加傾向となっており、今年度は、大幅に増加している。レタスは業務用需要が強い中、寒さの影響で少なめになることを見越した実需者が、早めに輸入の手当をしたものと思われる。主な輸入先国は台湾、米国となっている。 現在、国内消費量に占める輸入量の比率は小さいが、業務用需要が強いレタスの周年安定供給が求められている中で、特に生産が不安定になる冬場の国内生産の安定が課題となっている。	レタスの入荷量と価格の旬別推移 (平成23年12月上旬~平成24年2月、東京都中央卸売市場)								レタスの輸入量の推移 (12月~2月第3週までの合計)						
															
	注) 平年数量、平年価格は、12月は18~22年の平均、1月及び2月は9~23年の平均。								資料: ペジ探 (資料) 農林水産省「植物防疫検査数量」						
	資料: 東京青果物情報センター														

- 問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のお問い合わせから <https://www.alio.go.jp/form/vegetan.html>
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジヤス」 http://www.alio.go.jp/v-suishin/vaiukyu01_000076.html